

赤外線調査の調査時間帯を正確に判断するために。

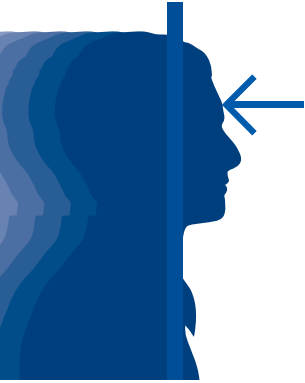
EM(S)装置

貼付型熱環境測定装置

特許出願済

調査の前に、
まずは基礎体温を計りましょう。

- 1 構造物と熱量を一定にし、正確な調査環境を整備。
- 2 気温変化だけでなく、風や日射を含め複雑な熱環境を正確に把握。
- 3 取付にアンカーを使用しないので、構造物は無傷。

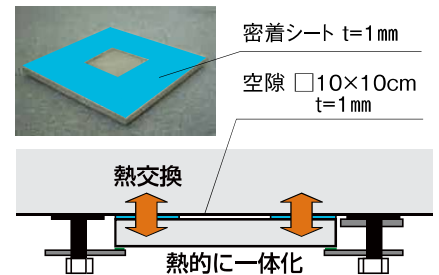
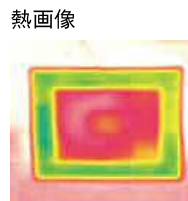
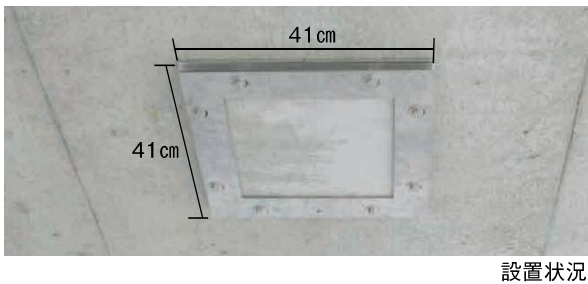


正確な赤外線調査には、 最適な調査時間帯を知ることが第一です。

EM(S)装置は、赤外線調査に最適な構造物の熱環境を把握する装置です。コンクリート面にEM(S)装置を設置し、構造物と熱交換することで熱量を一定化し、床版厚の薄い鋼橋でも、日射の影響を反映した最適な調査時間を把握することができます。また、従来の据置型とは違い、コンクリート面と違和感なく一体化します。また、設置にアンカーを使用しないため構造物を傷つける心配もありません。

POINT

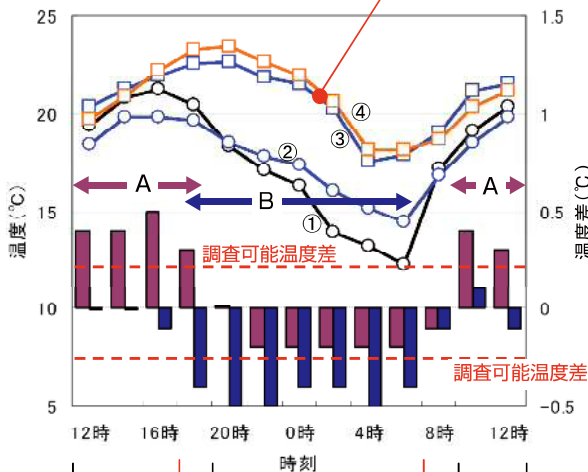
熱交換により実構造物と一体化した擬似損傷を再現します。



POINT

床版厚の薄い橋でも最適な赤外線の調査時間帯を把握できます。

EM(S)は床版とほぼ同じ温度変化を示す



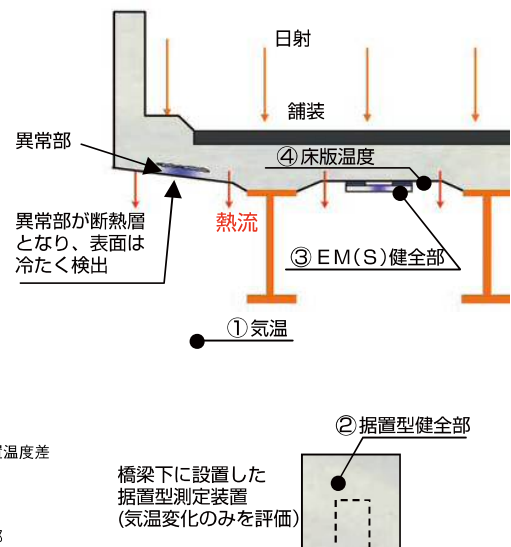
据置型による
調査時間帯
(誤判定)

据置型による
調査時間帯
(誤判定)

EM(S)による調査時間帯

A範囲:調査不可(据置型による誤判定)
B範囲:調査可能

鋼橋の測定例



■販売元・お問い合わせ先

西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社
〒760-0072 高松市花園町三丁目1番1号
tel.087-834-2386 fax.087-834-0150

くわしくは **エンジニアリング 四国** **検索**

販売代理店